



牡幼だより

第13号

【ホームページ】<http://www.botanyama-k.city-niigata.ed.jp>



～ヒヤシンス開花～



やる気スイッチ

夏のプール遊びの「泳ぐ」に続いて、3学期に入ってからの子どもたちは、8人全員が縄跳びの前回しをクリアしました。さらに、長縄跳びの連続跳びをしたり、全員で何回跳べるかに挑戦したりして、ますます意欲満々で遊んでいます。

縄跳びを持ち出してきた頃は、縄を後ろから前に回してやること自体が思うようにいかないため、ジャンプするタイミングもとれず、遊戯室にはドスンドスンという音が響いていました。そんなスタートからの子どもたちの成長ぶりは目を見張るものがあります。

この姿は、子ども自身の頑張りはもちろんです。それを陰で支える先生たちが、一人一人の子どもの挑戦や探求を読み取って掛ける言葉に、子どもたちのやる気スイッチがオンになってきたように感じます。担任は、「すごいね。」「上手だね。」と誰にでも当てはまる言葉ではなく、目の前の子どもが見せてくれたことにしか言えない言葉を選んでいるので、子どもに響くのです。ある時は、諦めそうになる気持ちを支えられ、ある時は技術的なことを教えてもらい、スモールステップでなりたいた自分を見つけた子どもは、諦めずに成し遂げようとしていました。

できるようになるまでの過程には、年長児も年中児も「もう、やらない。」と投げ出しそうな姿がありました。このような場面では、少人数での異年齢保育のよさが生かされます。子どもたちがみんなの様子を感じながら、互いに放っておかないところがいいところなのです。「こうやってみたら。」「そうそう、それでいいよ。」と友達を認めたり励ましたりするやり取りが頼もしい限りでした。

年少児からの「できた」という小さな達成感を味わう活動を積み重ねてきたことが、自分なりにやってみようとするパワフルな感覚を身に付け、小さな集団でもみんなで生活していくための役割や自分のすることが分かってくると、それぞれが生かされた温かい関わりが生まれてくる！そんな大切なことを子どもたちから教えられました。

学年末まであと僅かとなりました。この体験をして分かることをしっかりと積み上げ進級、進学への次のステップアップへつなげていきます。



※持ち手の延長に紙筒を巻いて、縄を回しやすくするための工夫。





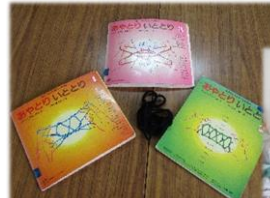
3月3日に向けて!

玄関前のひな人形を飾り付けた子どもたちは、「昔の人ってどんなことしてたの?」と着物を着たり、ごちそうをお重に並べたりして遊び出しました。そして、おひな様作りに真剣に取り組んでいます。



園長室で会食(2/9・10)

間もなく修了を迎える年長さんを園長室に招待しての会食会を設けました。楽しいおしゃべりの後は、あやとりに挑戦しました。「ぱんぱんぼうき」に「お餅つき」…子どもたちから教わってみてください。



「あやとり いととり」の本



第2回学校評議員会(2/21)

令和4年度の教育活動の振り返りとして、子どもたちの様子、後期の評価結果等を話題にしながら、評価やご意見・感想をいただきました。

子どもがたっぷりと遊べることは幸せなこと、話を聴ける子どもは、自分の話を十分に聴いてもらっている子ども、メディアとのつきあい方等々、評議員様それぞれの視点から評価いただきました。また、来年度は在籍児3名となる牡丹山幼稚園です。最後まで子どもたちを育ててください!という激励に気が引き締まる思いでした。



♪もちつきぺったんこ
ぞ〜れつけ ぺったんこ♪

評議員の校長先生へ「小学校へ行ったら、よろしくお願ひします。」
by だけ組



大型カルタでとった枚数を数えます。比べる方法はいろいろあるね。



交通安全教室開催。小路から出るときは、しっかり確認。



すこやかタイム(食育)。赤・黄・緑のげんキッズをバランスよく食べよう!



新潟県立大学の学生さんによるオペレッタ鑑賞。



おひな様とお内裏様になりにきっての演舞。牛車を引く牛さんも登場。



市之瀬幼稚園さんとオンラインで交流。何でもクイズが流行っています。